

# 佐保会兵庫県支部だより

## 第37号

佐保会兵庫県支部事務局

〒674-0057  
明石市大久保町高丘6丁目12-6 岩崎方  
TEL・FAX ○七八一九三五―八七四八



「美山」 飯塚 榮子 (S25理)

### 体を鍛え、心込め尽くす

橋詰 ケイ子 (S18家)

「健康に長寿を全うしたい」日々の願いである。東日本大震災三年で死者行方不明二万人以上と聞くにつけ私たちは今後いかに生きるか、自分自身の覚悟を定かにし実践しなければとの思いを強くする。

私たちは昭和十八年に卒業するや「文部省辞令」で任地に赴き、教育職として高く評価された。かつ、先輩佐保会員が各地の名士として温かく迎えてくださり、後輩の結婚の世話まで実に心を込めて尽くされていた。

父母に守られて在り今もなお

ご恩返しも成し得ぬままに

私も年齢的には人生の死に支度に入る時であるが、改めて今日の健康を授かった教育に深く感謝したい。

私は女学校一年生の時、五キロ三時間の遠泳に挑戦した。舟の上で大太鼓を打ち鳴らしながら大声で励まされる先生方の法被姿が勇壮であった。泳ぎ疲れ、列から離れ大海原に大の字になって身体を休めた。泳ぎ終えたときの鮎湯の味も忘れられない。

女学校では全校生徒が昼食前にきめられたコースを約半時間黙々と歩行、強歩を続けていた。卓球の猛練習は常設された体育館で。わずか十分の休みも無駄にできなかった。冬の体育はスピードスケート、運動場がスケートリンクとなった。女高師の合格発表はその試合の最中に奈良から伝えられた。

全寮制、自炊制であった女高師で私は雑刀部員でもあった。厳寒の奈良、早朝から道場までは廊下伝い、素足での雑巾がけ、師を待つ間の正座、凍りつく思いも「一文字の乱れ！」のかけ声とともに汗ばんでいた。当時奈良ホテルにお泊まりの三笠宮殿下が私たちとの「太刀あわせ」のために道場までお出ましく下さって感激したことが思い起こされる。

八十歳までのウォーキングによるプール通いから、現在の健康づくりは療養温泉通いとなっている。茨木市の病院長がJR中山寺駅近くに温泉を掘り当てられ（八百メートル）、病気になる前からの療養温泉生活をすすめておられる。

万緑や学舎仰ぐ老女たち

つきぬ思いの涙となりて

思いつくままに記しました。中にはこのような会員も居ることとしてお許し願いたい。

ここ伊丹の地より佐保会兵庫県支部会員の皆さんの益々のご健康をお祈りしています。

# 平成25年度 佐保会兵庫県支部総会

平成25年6月16日(日) 神戸風月堂ホール

## 卒寿のお慶び

(昭和19年卒業)

- 河手三子 様 (家)
- 平田美都 様 (保)
- 古田尚子 様 (臨数)
- 佐藤すなほ 様 (家)
- 中野美智子 様 (保)
- 東昌子 様 (文)
- 平井惠美 様 (文)
- 茶谷萬壽代 様 (家)
- 山川はる江 様 (保)

## 卒後55年のお慶び

(昭和33年卒業)

- 下井 盈子 様 (文英)
- 黒田 公子 様 (文体)
- 藤田セツ子 様 (家住)
- 小池 典子 様 (文英)
- 荻野 美子 様 (家住)
- 梶田 迪子 様 (家住)
- 伊藤百合子 様 (文体)
- 小林 睦子 様 (家食)
- 高林 幸子 様 (文英)
- 山口喜美子 様 (家被)
- 小山 章子 様 (理化)
- 山本よしみ 様 (家食)
- 井上 泰子 様 (理動)
- 大林 冷子 様 (家被)
- 柳澤 省子 様 (家食)
- 長岡 加代 様 (理数)
- 岩城 尚子 様 (文国)
- 松木 節子 様 (理化)
- 林 雅子 様 (文史)
- 井上 桂子 様 (文教)
- 三木 雅子 様 (文国)
- 塚本富貴子 様 (家住)
- 前川 節子 様 (家被)

まぶしいほどに晴れ上がった六月十六日、平成二十五年度佐保会兵庫県支部総会が、神戸風月堂ホールにて開催されました。出席者は六十二名でした。

この一年間の物故者にそれぞれの思いを胸に黙祷を捧げ、会は始まりました。

岩崎支部長は挨拶で同窓会のとらえ方に触れ、兵庫県支部のさまざまな活動に是非参加いただいで、学生時代とはちがった新しい人間関係を築いていただきたいと述べられました。ご自身も支部会員を素晴らしい仲間と思っていると、強く心に響くお言葉をいただきました。

四十一名の新入会員の呼名による紹介の後、支部長を議長に選出し、議事に入りました。長年課題となっていた支部会則の改正について、二度の拡大役員会、全会員への改正案の送付など、改正に至る経過と改正箇所の説明がなされ、採決により原案通り決定しました。

二十四年度事業報告、収支決算報告、監査報告の承認が行われ、続いて二十五年度の役員紹介、事業計画案、収支予算案の提示があり、いずれも承認されました。事業計画案では、事務局の活動予定、「樫の会」「ホームページ研究会」から興味ある催しの計画や「睦会」の案内がありました。

会は記念品贈呈と受賞披露に移り、九名の卒寿の方の紹介と記念品の「奈良絵扇子」の披露が行われました。



卒後五十五年の会員は二十三名、そのうち七名の方がご出席で、記念の「塗り箸」が贈呈され、お一人ずつ近況などを述べられ、お元気で前向きなお姿に会場から大きな拍手が送られました。

また、長年「朗読録音」の活動を続けられた文部科学大臣表彰を受けられた佐久間かず子様(S28文国)にお祝いの贈呈がありました。

本部からは、二十六年三月四月に佐保会設立百周年を迎えるのを記念行事が行われるため、さまざまな準備が進行中であるとの報告がありました。

会食までの四十分が歓談に当てられ、あちこちにおしゃべりの輪ができて和やかな時間を過ごすことができました。

会食は内山美智子様の乾杯のご発声が始まり、神戸らしく洗練された和洋折衷の美しいお料理をおいしくいただきました。

午後からは柳田紀美子氏(S62文体)をお迎えし、「インド古典舞踊のひとつ」で優雅の世界に包まれました。興味深いお話と映像、そして何よりも美しいお姿と舞に引き込まれてしまいました。

恒例の校歌斉唱のち来年の再会をお約束して散会となり、満ち足りた笑顔に「素晴らしき仲間」を見ることができたような気がします。

(中井 記)



## 受賞のお祝い

佐久間かず子 様 (S28 文国)

- 財団法人鉄道弘済会
- 社会福祉法人日本盲人福祉委員会主催
- 第41回「朗読録音奉仕者の集い」
- 全国表彰 H23.9.30
- 第42回「朗読録音奉仕者の集い」
- 「文部科学大臣賞」 H24.9.20

## 哀悼

- 加藤 咲子 様 (T15 文) H24.7.13没
- 福山 光子 様 (S15 理) H24.8.17没
- 金丸 壽子 様 (S18 文) H24.11.1没
- 永松 長子 様 (S23 理) H25.1.22没
- 別所きさ子 様 (S8 家) H25.1.29没
- 谷本 久子 様 (S20 家) H25.1.31没

## 会次第

1. 物故者に対し黙祷
2. 開会のことば
3. 支部長あいさつ
4. 新入会員紹介
5. 議長選出
6. 議事
  - ① 佐保会兵庫県支部会則の改正について
  - ② 平成24年度事業報告
  - ③ 平成24年度収支決算報告および監査報告
  - ④ 平成25年度役員承認および紹介
  - ⑤ 平成25年度事業計画(案)
  - ⑥ 平成25年度収支予算(案)
  - ⑦ その他
7. 報告
  - ① 一般社団法人佐保会
  - ② 収支決算報告
  - ③ 受賞者の披露
  - ④ その他
8. 会食
  - ① 一般社団法人佐保会
  - ② 柳田紀美子氏(S62年文体卒業)
  - ③ 「インド古典舞踊のひとつ」
9. 校歌斉唱
10. 閉会のことば

平成26年度支部総会 平成26年6月15日(日)

生田神社会館

JR・阪急・阪神・地下鉄 三宮駅下車

インド古典舞踊のひとつとき



柳田 紀美子氏 (S62文体)

本年度は例年と趣向を変えて、佐保会員の柳田紀美子さんにインド古典舞踊についてのお話とその優美な舞踊をご披露していただきました。

最初に見せていただいたのは、「サラスバテイの舞」という、インドのサラスバテイ河を神格化した神様（日本の仏教では弁財天と呼ばれている）の舞で、琵琶を持ち美しい音色を奏でる麗しい神様のお姿を讃えたものでした。両手で琵琶や蓮の花を表したり、足の鈴を太鼓のリズムに合わせて、打ち鳴らして踊るのが特徴とのことです。

つぎにインド古典舞踊「オリッシー」についてわかりやすくお話しいただきました。この舞踊は、東インドオリッサ州に伝わる伝統古典舞踊で、一千年前より盛んに寺院で奉納され、「祈り、感謝、生きる喜び」を表現しています。それぞれの所作は特別な意味を持ち、その背景にはインドの哲学・文学・神話の世界が深遠にひろがっています。寺院彫刻を映す表現スタイルは、やわらかく曲線的で「生きた彫刻」とも称され、現在「オリッシー」は芸術舞踊として

国際的に紹介されています。

インドは近年新興経済国としてメディアにおいても注目されるようになりました。

一方、その文化・芸術は古く天平時代から日本に深いかかわりを持ち、仏教という精神文化として影響を与えてきています。そのことが、「奈落（ならく）」などインドの古語からきた日本のことばがあること、インドにルーツを持つ日本の神々や神社があること、そして日本の仏像のポーズにもインド舞踊に織り込まれた彫刻美が連想できることなどからわかります。

その後、インドの民族衣装「サリー」の着方を、会場で参加者の一人、人杉本香織さんに実演されました。一枚の布を立体的に素敵に着付けられるその文化に感心させられました。



後半の演舞は、「女神讃歌の舞」という、魔神に打ち勝つ勇猛な女神を讃えた舞で、魔神は人間の煩惱を表し、それに打ち勝つ女神は、我々一人一人の心の中に存在するという意味が込められているとのことでした。

柳田さんがこの道に入られた最初のきっかけは、小学校五年生の頃、外国人の方と一緒にパークッションに合わせて歌ったり、踊ったりしたことだそうです。その時の楽しくわくわくした思いが、奈良女子大学文学部で体育学を専攻されることに繋がった

ようです。平井タカネ先生のご指導で身体表現学を修められ、卒業後、インドの首都デリーにてインド古典舞踊オリッシーの基礎を学ばれました。その後、オリッシー発祥の地オリッサ州で舞踊訓練を極め、現在まで研鑽を積んでおられます。オリッサ州滞在中には、政府科学技術省にて二年間職務にも就かれました。二〇〇五年より母校の文学部で非常勤講師を務めながら、大阪、芦屋、堺にて教室も主宰されています。

活動範囲も幅広く、国内では、国立民族学博物館や奈良国立博物館での企画公演や東京龍雲寺でのインド音楽と舞踊のコンサートに出演されたり、伊勢神宮内宮、熊野本宮大社や奈良法華寺にて舞踊奉納祈願をつとめられました。海外でもインドをはじめドイツ、アメリカの大学や国立民族博物館などで公演されています。この度、インド古典舞踊を見せていただき、どこか親しみのあるメロディに悠久のインドの時間を感じながら、その美しい舞の動きや表情に、会場全体が魅了され、楽しいひとときを過ごさせていただきました。（平野記）



平成25年度 新入会員 (41名)

学部等	氏名	地区	学部等	氏名	地区	学部等	氏名	地区
文歴史	池内美波	姫路市	理物	川上友絵	尼崎市	理情	長瀬友美	三田市
文歴史	徳岡ひとみ	神戸市東灘区	理物	清水りな	伊丹市	生環食	小野さつき	川西市
文社情	濱本弥央	西宮市	理物	鳥丸綺香	尼崎市	生環健	権田夏美	神戸市垂水区
文社情	鏡原えり	神戸市西区	理物	藤田真央	加古川市	生環健	粟津裕子	神戸市東灘区
文メディア	菅野良美	三田市	理物	堀之内亜美	神戸市北区	生環健	阪本理緒	尼崎市
文メディア	田中優里奈	尼崎市	理物	山方優子	宝塚市	生環住	天野みどり	伊丹市
文メディア	新山めぐみ	明石市	理物	横山景子	西宮市	生環住	鐘ヶ江梨沙	姫路市
文メディア	太田智子	神戸市西区	理化	川原由梨	高砂市	生環住	佐藤彩	尼崎市
文スポ	高田浩子	伊丹市	理化	笹田美紀	宝塚市	生環住	西岡里奈	神戸市東灘区
文欧米	豊田麻美	南あわじ市	理化	釣沙也香	神戸市北区	生環住	西垣綾乃	西宮市
文心理	早田有加里	豊岡市	理生	石川実起	県外	生環文	奥村文那	洲本市
理数	井上沙紀	姫路市	理生	酒井佳雅	神戸市灘区	生環文	伊瀬知由起	明石市
理数	久保晶起子	加古郡播磨町	理生	高谷敦子	神戸市須磨区	博前衣	小谷有理子	伊丹市
理数	水田成美	高砂市	理情	竹岡遼	三田市			

(敬称略)

# 楨 (ゆずりは) の 会 平成26年度 (含25年度2、3月) 行事予定

月 日	内 容	会場・行先	時 間	講師(敬称略)	備 考
平成26年 2月27日(木)	ランチ・コンサート	ドンク 阪急岡本グルメ館	11:30~15:00	土田 景介 田中 靖子	会費 3,500円 申し込み要
3月27日(木)	奈良「平城宮跡散策」 -天平ヒストリアー	資料館、大極殿、 朱雀門、歴史館他 (約2.5km)	11:00~15:30 集合時間 11:00 集合場所 近鉄西大寺 北改札口出た所	案内は まほろばソムリエ 瀬川 郁淑	昼食・拝観料は実費 (2,600円程度) 申し込み要
4月24日(木)	武庫川女子大学甲子園会館 (旧甲子園ホテル)説明と見学	武庫川女子大学 上甲子園キャンパス	13:00~15:00 集合場所 大学正門	武庫川女子大学 准教授 三宅 正弘	JR甲子園口駅から南東へ徒歩 10分、又は阪神甲子園駅から バスで戸崎町下車すぐ
5月15日(木)	10周年記念バスツアー 「うず潮見学と 淡路人形浄瑠璃他」	南淡路	集合場所 東急イン前 集合時間 9:00		会費 5,000円 先着 30名 申し込み要
7月24日(木)	古典に親しむ 「蜻蛉日記」 -文学としての日記-	神戸市勤労会館	13:00~15:00	柳瀬 あや子	資料は準備します
9月25日(木)	10周年記念コンサート 「フルートとハープの調べ」	風月堂ホール(元町)	14:00~16:00	吉岡 美恵子 野田 千晶	チケット 2,000円 (ケーキセット付)
10月23日(木)	食文化 「未来の子供たちに語り継ごう」 -震災を経験して-	神戸市勤労会館	13:00~15:00	森下 敏子	資料は準備します
11月27日(木)	美術鑑賞	美術館(未定)	13:00~15:00	学 芸 員	解説付き鑑賞 入館料実費
平成27年 2月26日(木)	ランチ・コンサート	ドンク 阪急岡本グルメ館	11:30~15:00	土田 景介 田中 靖子	会費 3,500円 申し込み要
3月26日(木)	「草の根の海外書道文化 発信・美文字」	神戸市勤労会館	13:00~15:00	川口 登美子	筆ペン・半紙持参

\*事情により日時等変更することがあります。 \*入会は随時 佐保会員以外の入会も歓迎 \*会費 年間1,000円、当日のみ参加300円  
\*申し込み要 下記の運営委員、又は楨の会のEメール(yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp)にご連絡下さい。  
なお 年間行事の近々の予告や終了した内容は「佐保会兵庫県支部」のホームページにUPされていますので、ぜひご覧ください。

平成26年度 運営委員 片寄 眞木子(06-6433-1420) 山下 知子(078-822-0939) 田中 明子(079-492-0323)  
永田 登喜代(079-423-5198) 中井 昌子(072-781-9482) 大塚 かよ子(079-222-2671)

## 歴史散歩

### ”清盛の夢の跡” 福原の都を訪ねて

鈴木 美根子 (S42 家食)

平成二十四年十一月二十二日神戸駅に集合し、講師の播磨学研究所研究員埴岡真弓氏の案内で平野方面へバスで向かいました。塞神の松広場↓祇園神社(小高い所)あり、平家が住んでいた辺りがよく見えました。↓雪見御所旧跡(湊山小学校の堀沿いに石碑)↓安徳天皇行在所跡↓病院前からバスに乗り、神戸駅へ。次は地下鉄海岸線で中央市場前駅へ。市場前のお寿司屋さんで昼食をとり、休憩。午後は運河・大輪田の泊辺りを歩きました。清盛の歴史館のイクメンのお兄さんたちと記念写真を撮りました。

来迎寺↓清盛塚  
・琵琶塚(田辺真人氏引率のグループと遭遇)↓阿弥陀寺で解散しました。歴史館は希望者のみ。(記念写真の時はサービステキニしていただけのうちに、入館しなごめんなさい。)



埴岡氏の丁寧な説明をお聞きし、NHKドラマの俳優さんの顔を思い浮かべながら散策しました。陸路の旅は大変な時代、権力を持つ者が海・港・船を自分のものにしたと思うたのでしよう。歴史を感じた一日でした。

## 「折り紙を楽しむ」に参加して

上田 俊子 (S37 理数)

佐保会横浜在住の同級の友人が、毎年、折り紙の作品の写真入り年賀状を下さるのに、あまり関心が無かったのですが、二十五年三月楨の会主催「折り紙を楽しむ」に参加させていただき、田中明子様(S43 文幼)ご指導の下、おかもち、写真立てなど二つ三つの作品を作りました。

鶴、あやめ、二双船などの簡単な折り方は、幼少時から知っていましたが、その後頂いた立方体を崩して、もう一度作り直そうとしたところ、なかなか出来ないのです。折れ線に従って元通り折れば直ぐに出来ると考え、あちこち折ったり引き出したりしたのですが、平面の展開図から立体を作る上げるイメージと技術(ねじるように折り畳み、差し込む等)が必要で、こんなに難しいとは思ってもよらず、以後折り紙に興味を持ち、亀、ペンギン、熊、恐竜等の動物にも挑戦しています。勿論、作品を自分で考え出すのではなく、本を見ながらの折り紙ですが、時折楽しんでます。

その他、平成二十五年二月「ランチコンサート」、四月「未知の土地『やしろの森』への旅」、五月「古典を読む『建礼門院右京大夫集』」、六月「調理実習『南蛮料理とつぼ料理』より」九月「折り紙建築」、十一月「原子力発電所の事故と内部被爆」の話等、神戸へ転居後多くの集いに参加させていただきました。いずれも本当に楽しく、役員の皆様には、幅広く中身の濃い計画、多くの回数の準備等、お世話をおかけするばかりですが、感謝申し上げます。

ホームページ研究会

平成二十五年度も「サロン・ド・パソコン」(佐保会会員対象のパソコン教室)を実施しています。

人気のスマホやタブレットについては、すでにお持ちの方々に、使い方を教わりたいと思います。ご購入前のチェックにお役立てください。

旅や暮らしの記録を手軽に音楽付き動画などに仕上げるのに役立ちそうなプログラムも用意しています。お気軽にサロン・ド・パソコンにお立ち寄りください。

なお、「佐保会兵庫支部だより」の電子化を行い、兵庫支部のホームページからバックナンバーをご覧いただけるようにしました。是非ご覧ください。

もより会報告

神戸市東灘地区「読書同好会」

長田 久美子 (S39 理植)

平成二十四年、東灘地区のリーダーを引き受けました。その時に「読書同好会」を作りたいと、リーダーをしておられる松本佳代子さんにお話ししましたところ、支部長さんと相談していただき賛同していただきました。

同好会は、二十四年五月から、約三か月毎に現在まで五回を重ねてきました。場所は、無料で使用可能なJR神戸駅前のクリスタルタワー四階です。毎回、約十名が集まり、三時間位おしゃべりを楽しんでいます。一冊の本を選び、出席した皆さんが合評し、また最近読んで印象に残った本も紹介しています。

詳細は兵庫支部のホームページに公開しておりますが、合評した本の題名は、「読書力」、「大往生したけりや医療とかかわるな」、「スローライフ」、「ロハスの思考」、「学び続ける力」です。皆さんとお話の中で、本の奥深さを知る事ができます。二十四年に睦会でもとられたアンケートでは、読書を趣味にあげている方が多く感じしましたが、趣味としての読書は、高齢者にとって、脳の活性化に役立つだけでなく、孤独を克服してくれるものと思います。読んで感動したことを話しあえる同好会は、これからも未長く続けてくれたらと願っております。本を読んでおしゃべりを楽しみたい方は是非ご出席ください。

丸岡玲子氏による恒例のパソコン講座

「ITで開く新しい世界3」

平成26年3月3日(月) 14:00~16:00

場所: 神戸市勤労会館 407号室

ITで開くさらなる世界 ご期待下さい。

平成26年度「サロン・ド・パソコン」の予定

月日	内容
6月18日(水)	Office365のWord
7月16日(水)	未定
9月17日(水)	Office365のエクセル
10月15日(水)	未定
11月19日(水)	Office365のパワーポイント
1月21日(水)	未定

場所: 兵庫県立神戸生活創造センター  
時間: 13:00~15:00

中村 京子 (S32 理物)

平成25年度 地区リーダー

地区リーダー会報告

松本 佳代子 (S44 文英)

平成二十五年八月二十二日、神戸市勤労会館で第十九回を開催。十七地区のリーダー・樫の会・ホームページ研究会・睦会の各代表、支部だより編集委員と事務局計三十五名が出席。地区のお世話をなさっておられる皆様から「もより会活動」やリーダーの「選出の仕方と任期」等につき生のお声をいただき状況を共有しました。他地区の事例も参考になったのではないのでしょうか。会員の皆様、先ずは「もより会」の案内が届きましたら同期やご近所の方とお誘い合わせ会場にお運びください。同窓生の輪を更に強く!

地区	氏名	卒業年学部等	地区	氏名	卒業年学部等
神戸市	東灘区	長田久美子 S39 理植 松本佳代子 S44 文英	東播磨	明石市	青山 宏子 S42 理化 森 光子 S43 理数
	灘区	河瀬 真理 S59 理生 井上 真理 H4 人博生	加古川市、高砂市 加古郡播磨町・ 稲美町	永田登喜代 S45 理数 田中 明子 S43 文幼	
	中央区	高橋 淳子 S50 家被	北播磨	西脇市、三木市、 小野市、加西市、 加東市、多可郡多可町	松山 和子 S45 理数 松本 良子 S52 理動
	兵庫区	長田真寿美 H8 家修被			
	長田区	川崎栄理子 S51 文英 浅井 直子 H2 理数	西播磨	姫路市、相生市、 赤穂市、たつの市、 宍粟市、 揖保郡太子町、 佐用郡佐用町、 神崎郡福崎町・ 市川町・神河町	小栗栖真弓 S55 文修史 宅見 春美 S54 文史 富山 和子 S53 家住
	北区	光上記久子 S35 文幼 大橋 節子 S41 文英			
	須磨区	八巻 和子 S50 理数 山本 裕子 S52 文国			
	垂水区	山中 邦子 S53 文英 新小田淑子 S59 理化	但馬	豊岡市、養父市、 朝来市、 美方郡新温泉町・ 香美町	米田 純子 S40 理動
	西区	片寄真木子 S36 家食 辻本 久代 S40 家食			
	阪神	尼崎市	溝端 玲子 S41 文地 石塚 明子 S44 文国	丹有	三田市 篠山市
西宮市		池澤 直子 S49 理化 岡本 京子 H1 家修生	丹波市		
芦屋市		平野 恭子 S52 家修食 三上 孝子 S50 家被		洲本市	南あわじ市 淡路市
伊丹市		牧 桂子 S44 文英 村井 和子 S44 家被			
宝塚市		溝田 總子 S32 文地 谷口ミサヲ S41 文地			

平成二十六年三月、奈良女子大学同窓会「佐保会」が設立百周年を迎えます。これを機に佐保会へのおもいなどを、伊丹地区の会員六人が編集委員とともに率直に語り合いました。

## 座談会「佐保会を語る」

日時 平成二十五年九月一日

会場 伊丹市 いたみホール会議室

座談会メンバー

飯塚 榮子 (S25理)

齋藤美智子 (S34理数)

都築 暎子 (S37家食)

安田 恵子 (S55理生 S57理修生)

林 淑美 (S62家食 H01家修食)

浦浜 理恵 (H15生環ア)

―佐保会は本部(奈良)、支部(兵庫県)地区(伊丹もより会)といるいろに活動していますが、これらに参加したことがありますか？

飯塚…もより会以外では今年初めて支部総会に行った。若い時は仕事で余裕がなかったが、いつもお世話になっていて体が動く間に一度でも出席しなければと思って。

齋藤…もより会はほとんど参加。他は時々。本部では寮の友達に会えるのも楽しみの一つ。

都築…支部総会にはなるべく参加するようになっている。塚口さんとともに地区リーダーを二十年ぐらいやらせてもらった。それは若い皆さんに余裕ができるまで何とかもより会を続けていればと思って。



七十歳を超えて名簿の順に回すことになった。リフレッシュしパワーが感じられる。

る。よかったと思う。

安田…母校大学に勤めていると学内理事の役が回ってきて、初めて佐保会館へ行き、先輩とお会いして佐保会のことわかってきた。大学と佐保会を繋ぐというのか。支部には今年初めてだったが参加してよかった。地区は昔、京都にいた時何回か参加した。一番若かったけど先輩方からエネルギーをもらい、おしゃべりが楽しかった。

林…ずっと以前、友人に声をかけられ本部に一度だけ参加。女高師の先輩が頑張っておられ、各県の支部長も来られていて全国的なすごい組織だと思った。その後土、日の勤務が増えてきて参加していない。

浦浜…どれにも参加したことがない。土日が休みでなかったこともあるし、教師の友達は先輩の話が聞いて勉強になると言っていたが私にほしい情報があるかなと思ったり、会費もちょっと負担だったりで。

齋藤…確かに以前、会費が高くて出にくかったこともある。

―佐保会員同士の繋がり、たとえば助けももらったことや、こないいいことあったという話はありませんか？

都築…同じ地域の佐保会員と知り合いになれて何よりよかった。

齋藤…恩師の米寿の会の準備を兵庫県ですることになり、そこで佐保会の先輩の一人と親しくなって、その後ずっとといういろんな面でお世話になり感謝している。都築…支部総会にもかなり高齢の先輩が

元気で出て来られる。体だけでなく精神的にもすごい。とても勇気づけられる。

編集委員(狩野)…佐保会の先輩には大変お世話になった。若いころテニスクラブに入っていたが、兵庫県支部から送られてきた名簿に同じクラブの先輩の名前が並びつくり。それがきっかけで子供を預かりあい、互いに週に一日ずつテニスを楽しむことができた。再就職の際にも、佐保会の別の先輩のおかげですんなり実現し、感謝している。佐保会員ということ

で信頼、安心してもらえたのだと思う。編集委員(平野)…三上さんとは同学年だが、それまで知らなかった。伊丹の住人ということも知らなかった。兵庫県支部の名簿でわかって高校の非常勤講師をお願いした。

安田…大学は個人情報保護の関係で卒業生名簿を持っていない(学科で持っているところもあるが)。名簿を持っていて卒業生の現状を知っているのは佐保会だけなので、佐保会にはすごく重要な役割がある。先輩の動向を知ったり、ネットワークを作るなどそういう役割は同窓会しかできないと思う。

編集委員(中井)…仕事を頼もうかなと思う時に、まず佐保会の人をお願いする。個人情報保護の関係で名簿作りが難しく



なってくる、もより会や支部の会で情報交換するのが大事だと思う。直接会って話できるので。

**都築**…この頃は専門学校でも適任者を探している。辞めたら次の人を捜してくれ

て。最近、佐保会に入会しない人もいると聞いています。今後佐保会活動をさらに発展させる工夫、アイデアは？

**林**…学生の時でも、同じクラスの人や寮部活の繋がりのある人以外は全くわからなかった。在学中に佐保会館を利用するなど、何か交流できるような行事があったら、卒業後も繋がりがやすいかなと思う。

**安田**…今は佐保会館で、就職セミナーなど在校生と卒業生との交流会がもたれている。卒業式のあとの着替え用に一階の和室が提供されたりもしていて学生との距離が近くなったように思う。七年前耐震改修をして多くの人が使えるようになった。コンサートも開かれているし、大学の行事で使ったりもしている。

**編集委員(平野)**…在学中に寮などで県人会というか、同郷の人とよく集まっていた。

**安田**…遠隔地の人たちは集まっていたかも。学部、学科を超えた交わりって普通難しいけど。

**浦浜**…佐保会活動に若者が参加しないと

いうことで…。卒業してすぐの時に出席するとその後は出やすいのかも。

**安田**…支部によっては、総会の中で特別の歓迎会をやっているようだ。

**都築**…電話で声をかけると、出ようかなと思う人もいる。声かけは大事。

**浦浜**…いきなり一人でそうそうたるメンバーの中に放り込まれると思うと、一歩が踏み出せない。先ず、最近卒業したばかりの人を集めた会が何年かごとにあつたら、参加しやすいかも。

**都築**…出ても同年齢の人がいなければね。誘い合わせてもらって。

**斎藤**…何か魅かれるものがないと…。行って楽しいことがないとね。

**安田**…きっかけがあるのでは。一度出てみると楽しい会とわかるのだけど、出る前にはどうかかと考えてしまう。先輩だとわかっていても、どんな人かわからないというのもあるかな。

**編集委員(狩野)**…順に回ってきた地区リーダーを仕方なく受けたが、皆さんが優しく話しやすく刺激をもらえ、知り合いになれてよかつたと思う。最初の一歩が踏み出せない。地区リーダーをしなかつたら佐保会には一回も出ないままだった。

**都築**…一度リーダーをすると佐保会に対する考えが変わってくるのかも。

一先ずは身近な「もより会」に多くの人に参加し、盛り上げていくことが大切ですね。もより会についてのおもいは？

**都築**…もより会から佐保会に対する認識が変わってくるということかな。今まで

一度も途切れず続けてこられたし、これだけは続いてほしい。とにかく集まることが大事。気の張るものではないので気楽に出てもらおうといんだけど…。

**飯塚**…先輩方には励まされることが多かったので高齢のためか出席できなくなりましたことは寂しい。

**斎藤**…先輩方の話が面白く、いつももより会では大笑い。

**飯塚**…都築…そうそう。お話し上手で寮や大学のいろんな話で楽しませてくれた。賑やかだった。皆さんどうしておられるかな。

**都築**…斎藤…尼崎とは何度かしたが、他の地区との合同開催もいいかもしれない。

中味を勉強会にするか、食事会にするか、見学会にするのか。

**飯塚**…私らくらいになると食事会がいい。でも若い人はどうなのか。

**斎藤**…忙しい人は短時間の方がいいのでは。

**浦浜**…食事会が気楽かと思う。

**都築**…季節に合わせるのもいい。梅林やバラの美しい時期とか。

**林**…食事会が基本かな。

**都築**…新しいお店に行くのも楽しみ。**安田**…今回、記事作りをしていて伊丹には見るところがいっぱいあるって再発見

した。食事会をメインに、オプシオンで行きたい人は一緒にでかけませんか、と

いうスタイルはどうか。

最後に、佐保会におもつこと、期待することなどエールを。

**斎藤**…小規模の大学の同窓会であることでまつまりやすく、これからも皆で大切にしていきたい。若い人はどう感じているのか。

**浦浜**…今回、面識のなかった先輩方とお話させていただいた。思っていたような敷居の高さはなく、参加させてもらってよかつたと思う。伊丹市内に同じ趣味活動をされている先輩がおられたこともうれしかった。これから佐保会の絆を大切にしたい。

**飯塚**…卒業生の心よりどころとして佐保会が充実していくよう願っている。

**林**…百年の長きにわたって続けている会に、会員皆さんの活躍の素晴らしさを感じる。

**都築**…今回百周年を迎える、素晴らしいなと感慨深いものがある。これからは行事にもっと参加しなければ…。

**安田**…海外も含め全国に広がった同窓生のネットワークを、百周年を機にさらに深い繋がりにできればと思う。

―座談会を終えて

初めてお会いした方、いろんな年代の方とも話がはずみました。やはり同窓という親近感、安心感でしょうか。先輩方の佐保会にかける情熱がひしひしと伝わってきます。先輩方が連綿と繋いでこられたものを次に繋いでいく役割を果たさなくては…。

(進行…編集委員酒居)



# 伊丹八景

## 織りなす魅力ある町

北部緑ヶ丘にある市内で最も古い公園。上池・下池を松や桜の古木がとり囲み、心癒される空間である。下池のほとりには、入母屋造りの数寄屋風建物「鴻臚館」や伊丹市の友好都市中国・佛山市から贈られた亭(ちん)「賞月亭」がある。「鴻臚館」は日本建築の伝統技術を残すために、市内の大工・左官・建具師ら「現代の名工」が

### ② 緑ヶ丘公園

伊丹空港の滑走路に隣接する公園。高さ約7mの芝生のマウンドを連続して整備し、「大空の丘」「冒険の丘」「ついでに丘」「星空の丘」「翼の丘」など九つのエリアを利用者が回遊して楽しめるようになっていた。公園の丘からはダイナミックな飛行機の離着陸を見ることが出来る。広大な芝生の斜面を利用した遊具広場では、ローラー滑り台やジャングルジムなどがあり、中でも「キューブアドベンチャー(巨大立体迷路)」は子供たちに大人気である。



### ① 伊丹スカイパーク

伊丹郷町の氏神であった猪名野神社から国道一七二号線まで旧西国街道の伊丹坂を横切り、約一・四km続く。自然情緒豊かな遊歩道で、伊丹版「哲学の道」とも。伊丹市指定の「緑地保全地区」でもあり、ケヤキ、クスノキなど伊丹自生の巨木、古木が繁り、季節になるとサクラ、アジサイなどの花々も楽しめる。昔は猪名川から取水する加茂井(かもゆ)として伊丹郷町の田畑を潤す農業用水路だったところを暗渠化し埋め立て、昭和五十九年に整備された。最近、緑地の中ほど(伊丹市春日丘四丁目)に「白洲屋敷跡の案内碑」が設置された。吉田茂首相の側近として活躍した白洲次郎の父文平が、この辺り四万坪の敷地に木造和風建物を建てた。白洲次郎と正子の婚姻届は昭和五年伊丹町役場に出されている。



### ⑧ 伊丹緑地



### ⑦ ことば蔵

猪名野神社に向かつて宮の前を歩いて行くと右手に城郭を思わせる建物が見えてくる。平成二十四年七月に開館した伊丹市立図書館「ことば蔵」である。「公園のような図書館」で「本と出合い、言葉をおぼえ」をコンセプトに、一階は明るく広い市民交流フロアである。本を紹介しあう書評合戦やお薦めの本を交換する「カエボン」、市民が講師の「まちゼミ」など市民の参画と協働による催しも多い。ギャラリーには市内在住の作家であり名誉館長の田辺聖子氏と宮本輝氏の著書が並ぶ。伊丹市は「ことば文化都市」特区の認定を国から受け、「ことばと読書を大切に」する教育を推進している。市独自の教科、「ことば科」を小学校三年生から六年生で週一時間、学習しており、その中核となる施設でもある。



### ⑥ 伊丹郷町

JR伊丹駅前に「有岡城跡」がある。戦国時代の武将荒木村重はここに城下町を城郭の中に取り込んだ「惣構え」の有岡城を築城した。現在、堀、土塁、石垣などが残されている。伊丹郷町は有岡城を中心に形成され、最初は城下町として、その後酒造の町として発展した。伊丹は清酒発祥の地と伝えられ、江戸時代には清酒が樽廻船で江戸をはじめ諸国に送りだされていた。その発展の一端は、有岡城西側の旧岡田家酒蔵(国指定重要文化財)



## 伊丹地区 佐保会員が選んだ

### 自然・歴史・文化が

建築した。上池に面した梅林は、毎年二月下旬から三月中旬べらまで約五十種四百本の梅の花が咲き誇り、見頃には「寒梅と野点の会」が催される。



### ③ 荒牧バラ公園

宝塚市との境近くに位置し、世界のバラ約二百五十種一万本以上を集めた南欧風の公園である。堤防を利用した立体的な地形に、見事なバラが咲き誇り、小さな子供でも安心して遊べる水の流れるアプルーチもあり、年齢を問わず人気がある。入園料は無料。地下深くから青い空に突き出た三本の柱（コラム）は地球の平和を願い、自由・平等・人類愛を象徴としている。バラの見頃は五月中旬～六月中旬、十月中旬～十一月中旬だが、お勧めは春ハラである。



### ④ 瑞ヶ池公園の「里帰り桜」

世界的な桜の名所、アメリカ・ワシントンD.Cポトマック河畔の桜は、日米親善の架け橋として明治四十五年日本から寄贈された。この桜は、伊丹市東野で作られた丈夫な台木をもとに、苗木が育てられたものである。明治の末、アメリカで来日経験のある学者や作家たちから「アメリカ人たちにも美しい桜を見せたい。」という声が相次ぎ、当時の大統領夫人がこれに賛同し、ついには日本政府を動かした。最初に送られた桜は、害虫や病気により根付かなかったが、再度送られた伊丹の桜は、今も毎年見事な花を咲かせ続けている。桜の寄贈九十周年を記念し、平成十五年ワシントンの桜の子孫樹が「里帰り桜」として瑞ヶ池公園に植樹されている。



### ⑤ 昆陽池公園

大阪空港を飛び立つ飛行機の左側の窓から、離陸後すぐ池の中に日本列島の形をした島が見えてくる。これを囲む緑の一角が昆陽池公園である。昆陽池は奈良時代、僧行基によって灌漑用水として築造されたもので、現在は公園として市民の憩いの場となっており、関西でも屈指の渡り鳥のオアシスとして知られている。伊丹市には山がない。それで生物多様性をもつ森を目指して、行政と市民ボランティアが協働し、クヌギ等の植栽や維持管理が行われており、現在、昆陽池は北摂里山三十の二つに選ばれている。池のほとりには昆虫館があり、温室では十四種千匹ほどの大型の蝶が悠々と飛び交い、南国の楽園にいるような気分が味わえる。



に見られる。酒蔵は年代がわかり現存するものとしては日本最古である。酒造りで栄えた伊丹では、俳諧文化が華開いた。芭蕉と並び称せられた上島鬼貫は有名である。貴重な俳諧コレクションを所蔵する「柿衛文庫」が旧岡田家酒蔵北にある。

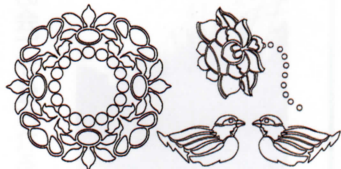
## 至福のひとつとき

### 正倉院御物の 文様デザインに魅かれて

藤野 千代 (S 62 理物)

正倉院には、中国・唐時代の高僧、鑑真和尚が三度の難破を乗り越えて六度目に日本に渡航されたような時代にあつて我が国にもたらされた美術工芸品、その技術をもとに奈良朝の人々が苦心して作成された宝物などが納められています。唐花文、宝相華、連珠文、含綬鳥といった祈りが込められたそれらの宝物に誘われるように電子デザイン化を行っています。意識を強く集中させなければ天平文様のラインの優美さ、力強さに圧倒されてしまいますが、制作された方の誇りや遊び心を垣間見た瞬間には無常の喜びに浸ることが出来ます。対称性を持つ文様はその最小領域毎に全領域を新しく作成し、それぞれに対称複写したものを比較しつつ細部修正を行いますし、欠落している文様は自身の感覚で作成し、銀泥で描かれた粗い文様にはラインを加えて、模倣創作のような作業です。

日々少しずつ描き出してきたイラストも七、八年をかけて百数十点となりました。現物の配置デザインに近いも



連珠文、双鳥、唐花文など

のを基本データとして作成し、そこから色使いや配置をアレンジしてあります。作業は週末の限られた時間だけです。至福のひとつときです。

理学部で物理学を学び、電機メーカーで重電機器の開発に従事した経歴を話す多くの方は驚かれますが、自然現象が織りなす文様、無駄を削ぎ落とされた機器フォルムの美しさを学んだことが、天平文様に心動かされた原動力であると感じています。すべての経験が繋がって「今」があると思うのです。この「今」がどんな未来につながるかは・・・わかりません(笑)。



藤野さんが上梓された単行本

### もう少し続けようかと

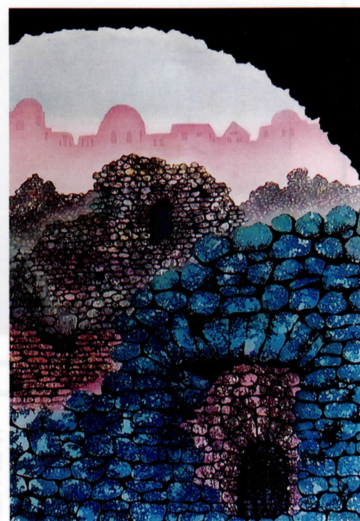
建林 章子 (S 38 家被)

捨てられぬ竹の物差し老の春

俳句の会で賛同を得たことがある。布、紙、木のものに執着する。ポリ袋が捨てられない人も居るから、それぞれの質ではないかと思っている。

染色全般も楽しいが、型染め、糊置きではなく、筆に蠟をつけて、布に置く。蠟が布に浸み込む。特にその感触が好き

蠟繡染「悠久Ⅱ」30号



である。考えてみると、蠟繡染を始めて四十年位になるが、やめられない。仕事子育てといろいろあつたので、それを理由にほどほどの係わり方で続けてきた。

初めは珍しいこともあり、友人や家族に褒められ、その気になって制作をした。展示会にも出品した。今思うと恥ずかしい限り。昔良いと思っていたものが稚拙である。長いおつきあいをしていたにている友人の一人に、最近、展示会の会場で「継続は力だねえ」と言われた。六十代半ば、良い師に出会ってから、作品が少しずつ良くなったような気がする。遅遅とした歩みではあるが、新たに気付くことがあるのは嬉しい。

作品には人格も能力も現れ、恥曝してあるが、一瞬の自画自讃のために続けているようなもの。

白い布に蠟を置き、染料で染める事を繰り返す。この作業は絵を描くこととは違い制限がある。制限の中での工夫が楽しい。視力も落ちたし、腰も痛いながらも少し続けようかと思っている。

大小の刷毛を洗ひて遠花火

### 社交ダンスに出会う

三上 孝子 (S 50 家被)

私が社交ダンスを始めたきっかけは背筋がピンと伸びた素敵なお先生の出会いでした。

月一回、六甲で、月三回、伊丹で習っています。高齢の方が多いですが、皆さんとてもお元気です。三か月毎に種目が変わり、今はクイックステップとチャチャチャを練習しています。クイックはテンポが速く音楽に合わせて踊るのは大変です。皆で速すぎる、踊れないと言いがら和気あいあいと練習しています。ワルツやタンゴ、ルンバ等いろんな種目が三か月毎に変わって行くので、ステップを覚えては忘れの繰り返しですが、そのうち何とか踊れるようになります。六甲の教室ではクリスマスにホテルでダンスパーティーを行っています。年一回年齢を忘れ華麗に変身し楽しいひとときを過ごしています。

新しいステップを覚え音楽に合わせて踊ることで、元気な体を作り、脳が活性化してくれればと淡い期待を抱いてステップを踏んでいきます。



## 睦会報告

## 平成24年度

## 60歳からのワンダフルライフ

岩崎 雅美 (S44 家被)

第37回「睦会」が平成24年11月12日(月)、「ホテル竹園芦屋」にて開催され、51名が集いました。

よく知られていることですが、昭和44年卒ごろの学生が奈女大に入学した動機には、「奈良への憧れ」「専門性がある」「入試科目や入試日程がよい」などに加えて、「寮の存在」「故郷からの脱出」などがありました。

卒業後は仕事や家庭に夢中でしたが、還暦を過ぎるころから、奈女大へ進学したことが人生の後半にどのような意味を与えるのか、高学歴女性の高齢期の暮らしぶりなどに興味がわきます。

そのような思いから、今回は葉書による兵庫県支部睦会版アンケート「60歳からのワンダフルライフ」を試みました。人それぞれに生き方は異なりますが、佐保会員ならではの共通点や素晴らしい生き方をされた(されている)会員を知ることには大いに意義があることと思います。本稿では睦会の会場で披露した内容から特筆部分をご紹介します。

**実施期間:** H24.9.12~10.20、送付総数(睦会会員総数) 470名、有効回収数(率) 261名(55.5%)。

**年代別内訳:** 60代 94名、70代 106名、80代 55名、90代以上 6名。

## 質問事項:

- ①「現在の住まい」: 自宅が殆どで、施設が9名、その他子供の家など。
- ②「これから先、どこで誰と暮らしたいか」: 自宅で夫や家族とが殆どですが、一人で暮らす35名、施設23名。
- ③「過去の主な仕事」: 教師191名、会社員30名、主婦11名など。
- ④「現在の仕事」: 無し154名、主婦24名、教師22名、自営11名など。
- ⑤「現在の趣味や娯楽」: 読書、短歌、書道、音楽、生け花、園芸、旅行、絵画、社会活動、スポーツ、パソコン、おしゃべりなど多彩な趣味がみられ、年代別に並べると234種もありました。「要約筆記通訳」「朗読」「食品の探求」「読み

聞かせ」などは学生時代の延長のようです。中には長年の努力でその分野の講師になった方もおられ、会員の潜在能力の高さが伺えます。

⑥「健康上注意していること」: 食事のバランス、睡眠、運動などの基本の他に、外出する、身の回りのことは自分でする、よく笑う、自然体で穏やかな気持ちで楽しく、新しいことを始めるなど、精神面の注意も多くみられます。

⑦「理想とする(した)晩年」: 自立した自由な生活60名、健康な暮らし30名、趣味を愉しむ10名、穏やかで静かな生活、人・社会の為になるように、自然の中で自然体、悠々自適、晴耕雨読、知的好奇心を失わずなど、自立精神が強調されているようです。

⑧「感銘を受けた佐保会員の生き方」: 28名のお名前が挙がりました。社会的に高い地位や評価を得た方、地味な(教員)生活ながら誇り高く後輩を導いた方、長命の人生をしつかり生きた方など素晴らしい方々です。中でも清川妙氏は現在91歳で、著書が多く、文学活動を通して元気にご活躍とのことで、東灘区主催の読書会などでもよく話題に挙がります。

⑨「その他、自由な意見」の中には、睦会に参加したくても体が不自由、自分の老後が心配、高齢の話題に焦点を当てた企画を望む、睦会は他府県に無くありがたい、継続の検討が必要、などがあり、不安と希望の入り混じった複雑な心境がみられました。

参考として、下記の『支部だより』には類似の調査報告が掲載されています。第6号「大卒卒業会員アンケート」、第10号「お互いを知りましょうー各世代の方にアンケート」、第11号「Look Younger Live Longerーより若く、より長生きしましょうー」、第29号「ちょっと変わった? 戦後六十年の節目にあたって」

最後になりますが、ご協力いただきました方々に心よりお礼を申し上げます。

## 平成25年度

第38回「睦会」は平成25年11月11日(月)、湊川神社境内の楠公会館で開催されました。七五三詣りの華やぎと、突然の冷気を感じながら、40名参加の楽しい集いになりました。

会食後は奈良見学をした気分でした。春、桜満開の母校と周辺、観光地域、唐招提寺や法隆寺の方面まで取材した風景が、説明つきで投影されました。「やっぱり奈良はいいねー」の声。

正門と記念館はNHKの朝のドラマにも出演しました。大学のレターセットと写真をお土産にしましたので、帰宅後家族の方と会話が弾んだと思います。



角野 芳子 (S45 家被)

続いて愛唱歌12曲と校歌を歌いました。私達の年代は校歌を知らないの、ユーチューブを検索して予習をしましたが、自信なくミスプリントもあったので、内山美智子様(S20 理)に少しだけ指導していただきました。

キョウイク(今日行くところがあ)と、キョウヨウ(今日用がある)が元気に生きる秘訣だとか。

私の目標は昭和6年家事科卒の菊澤道子様。105歳くらいですか?

お葉書をいただきました。次回のお

元気なお便りを心待ちにしています。

来年度もさらに多くの方々とお話しできるといいですね。

